

令和 6 年 7 月 4 日



# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 1 号)

## 概要

- ・対馬海峡において、6 月 24 日に大型クラゲが出現したことが本年度初確認され、その後も対馬では持続的に大型クラゲの出現が報告されています。
- ・今後、島根県沿岸に大型クラゲが来遊し、場合によっては 2009 年以來のまとまった出現となる可能性がありますので、今後の動向にご警戒ください。

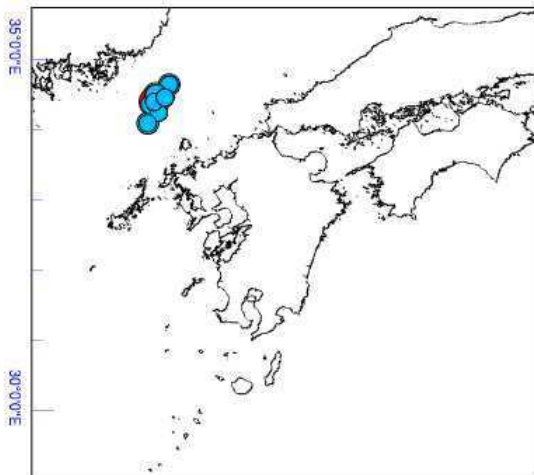
## 漁業情報サービスセンター (JAFIC) からの情報提供

- ・6 月 24 日に大型クラゲが定置網に入網したことが、対馬で本年度初確認されました。定置網 1 網あたり最大 2000 個体の入網が見られ、ここ数年では非常に早い出現です。
- ・その後も持続的に対馬での出現が報告され、対馬西岸を中心に、広範囲の定置で入網がみられています。
- ・現時点ではサイズは 50cm 以下が多く、小型が主体です。
- ・現在までの長崎県対馬地区定置網への入網状況は、以下のとおりです。

月日	出現数 (個体数)	サイズ (cm)
6 月 24 日	1~2000	10~60
6 月 25 日~7 月 2 日	2~300	20~60

- ・今後、山陰の広範囲で出現が見られる可能性があります。また、今年のような出現は 2009 年以來であり、今後の動向に注意が必要です。
  - ・沖合操業のまき網船、底曳船での入網も増える可能性があるため、いずれの漁業も十分注意してください。
- ※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

## 大型クラゲ出現量 (JAFIC 作成 2024 年 7 月 3 日現在)



### 個体数

	定置網等	その他漁業	調査
1~9	●	■	▲
10~99	●	■	▲
100~499	●	■	▲
500~999	●	■	▲
1000~	●	■	▲

### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和6年7月12日



## 大型クラゲ情報(令和6年度第2号)

### 概要

- ・7月10日・11日に、島根県で大型クラゲが今年度初確認されました。
- ・対馬では依然としてまとまった入網が続いているため、島根県にも来遊が続くと考えられます。沖合操業の底曳・まき網も入網の可能性が高いので警戒してください。

### 本県の出現状況(7月11日現在)

- ・7月10日に隠岐の島町の定置網で、大型クラゲが今年度初確認されました。数は1経営体あたり10～200個体で、サイズは50～60cmほどです。
- ・7月11日にも隠岐の島町と海士町の定置網で大型クラゲの入網がありました。数は1経営体あたり10～40個体で、サイズは40～90cmと、比較的大型の個体も入網しました。
- ・JAFICからの情報提供(下記参照)によれば、対馬では依然としてまとまった入網が続いているため、島根県にも来遊が続くと考えられます。
- ・これから隠岐以外の地域にも来遊があると予想されます。JAFICの過去のデータからの推定によると、来週はじめに島根半島にまとまった数の大型クラゲが来遊する可能性が高いとのことですので、警戒してください。
- ・沖合操業の底曳・まき網も入網の可能性が高いので警戒してください。

### 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(7月10日現在)

- ・対馬の定置網は依然全域でまとまった入網が続いています。1経営体当たり数個～最大3000個体となっており、網等漁具の破損、作業増大などの漁業被害が出ています。
- ・山口県でも初確認がありました(8～9日、長門市・萩市)。
- ・これまでの情報から、対馬はこの状況がまだ続く予想されます。
- ・山陰は全域で今後出現が見られると思われますので、注意警戒をお願いします。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 7 月 18 日



# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 3 号)

## 概要

- ・隠岐の定置網では大型クラゲの入網が続き、操業に支障をきたしている例も確認されます。
- ・出雲・石見の定置網でも入網が確認されました。
- ・島根県沖合・対馬周辺のまき網でも入網が確認されています。
- ・島根県沖合に大量のクラゲが分布していると考えられることから、沿岸漁業・沖合漁業ともに警戒が必要です。

## 本県の出現状況(7月18日現在)

- ・隠岐の定置網では大型クラゲの入網が続いています。40～90cm 程度のサイズのクラゲが、最大で 1 経営体当たり 400 個体程度入網しました。クラゲが多すぎて網揚げできない状況も報告されています。
- ・出雲・石見でも入網が確認されました(出雲地区および江津地区)。20～60cm 程度のサイズのクラゲが、1 経営体当たり 10～30 個体程度入網しています。また、浜田沿岸でも大型クラゲが目撃されています。
- ・7月16日に試験船島根丸によって、隠岐北方の海域で大型クラゲが確認されました。3 地点で 4～16 個体程度、大きさは 50cm サイズです。海上から確認できる個体は全体のごく一部であることから、相当数が海面下を浮遊している可能性があります。
- ・まき網にも入網しました。沖合操業の船も警戒が必要です。
- ・7 月中にこれだけまとまった数の入網があったのは、近年では 2009 年と 2019 年で、特に 2009 年は大量出現が 12 月まで続き、各種漁業に被害を与えました。

## 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(7月18日現在)

- ・分布は東に広がっており、京都府でも大型クラゲが確認されています。
- ・島根県沿岸、対馬周辺のまき網でも入網の情報があります。
- ・沖合にはすでに多くの分布があると予想されます。山陰は全域で警戒してください。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和6年7月29日



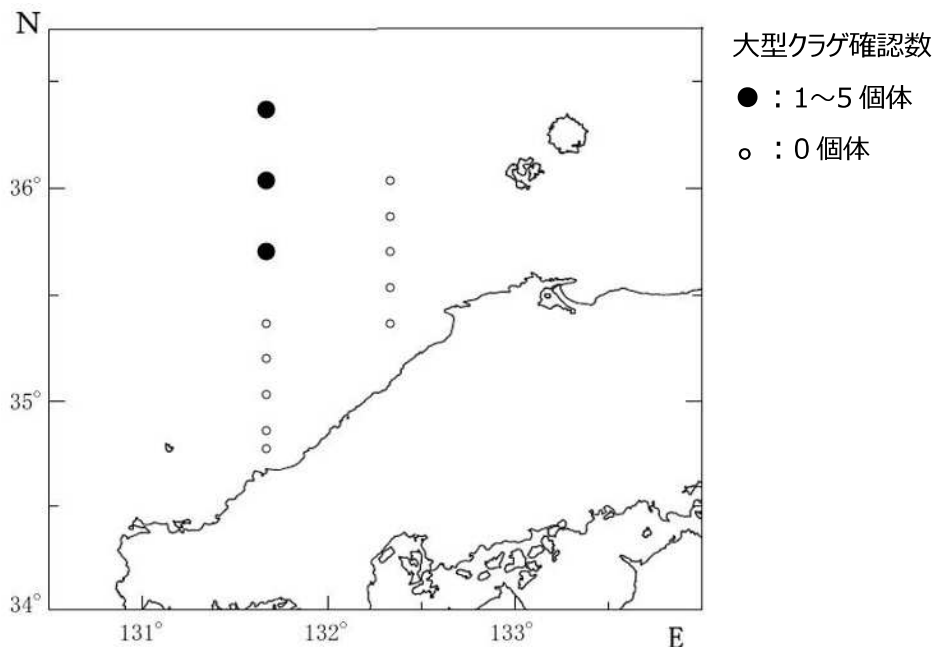
## 大型クラゲ情報(令和6年度第4号)

### 概要

- ・試験船による大型クラゲ出現調査を行い、三点で出現を確認しました。鳥取県による調査でも大型クラゲが確認されており、このように広範囲の海域に出現するのは2009年以来となります。
- ・隠岐・県東部の定置網で大型クラゲの入網が続いており、被害も確認されています。
- ・対馬海峡では依然として大量の大型クラゲの出現が確認されています。現在は沖合に濃密に分布していますが、気象条件によっては沿岸に大量出現する可能性があります。引き続き沿岸漁業・沖合漁業ともに警戒を続けてください。

### 試験船「島根丸」による大型クラゲ目視調査結果(7月24~25日実施)

- ・試験船島根丸を用いて、7月24~25日にかけて、大型クラゲの目視調査を行いました。各調査定点から2マイル航走する間において、試験船の両舷から目視にて大型クラゲの出現の有無を確認しました。
- ・調査の結果、図中に示した三点において、1~5個体の大型クラゲを確認しました。サイズ(傘径)は60~70cm程度でした。一方、沿岸寄りの調査定点で大型クラゲは確認されませんでした。



### 本県の出現状況(7月19日~25日)

- ・隠岐の定置網では50~200個体程度の大型クラゲの入網が続いており、網が破れるなどの被害も報告されています。今までは島の北側に位置する定置網で入網が多かったですが、南側の定置網でも増加してきました。サイズも70~100cm程度と、徐々に大型化しています。

- ・県東部の定置網でも 4～60 個体の大型クラゲの入網が続いています。サイズは 40～60cm 程度。また、漕ぎ刺し網の漁具がクラゲによって破損したという報告も受けています。

### **水産教育・研究機構からの情報提供（7月17日現在）**

- ・7月17日に行われた対馬海峡における国際フェリーからの目視調査の結果 対馬海峡東水道で 23 個体、西水道で 1,391 個体の大型クラゲを目撃しました。
- ・対馬での目撃情報を基に最新の海況情報を用いて日本海における移動予測計算を行った結果では、対馬海峡から流入した大型クラゲの一部は日本沿岸に沿って北東に移動し、8月上旬に能登半島に達すると考えられます。

※詳細は水産教育・研究機構 HP

([https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/kurage.html](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage.html))

### **漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（7月29日現在）**

- ・山陰における大型クラゲの出現が本格化しつつあります。
- ・これまでの出現状況から、島根県沿岸には数百～千個体を超える入網の可能性が示唆されますが、現状はそのような出現にはなっていません。これは沖合に濃密な群が分布しているためと考えられますが、気象等の影響で沿岸に大量出現する可能性があります。山陰は全域で警戒してください。
- ・島根・鳥取の調査で、沖合までの広範囲で目視・入網があります。試験研究機関の調査で広範囲に確認があるのは 2009 年以來です。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### **【発信者】**

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 8 月 9 日



# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 5 号)

## 概要

- ・ まき網で大量の大型クラゲの入網が確認されています。まき網や、これから漁期の始まる底びき網の漁業者は警戒をしてください。
- ・ 沿岸における出現は 8 月に入ってから落ち着いてきていますが、定置網には突発的に数百個体の入網がある例も確認されています。沖合に分布するクラゲが大量に沿岸に流れてくる可能性もあるため、警戒を続けてください。

## 本県の出現状況(7月25日～8月9日)

- ・ 県東部の沖合で操業するまき網において、一日あたり数十トンに達する大型クラゲの入網が確認されています。「大型クラゲ情報第 4 号」でお知らせしたように、沖合に大量のクラゲが分布していると考えられます。まき網や、盆明けに漁期の始まる沖合底びき網の漁業者は警戒をしてください。
- ・ 隠岐の定置網における大型クラゲの入網は、8 月に入ってから、多い場所でも一日あたり 30 個体程度となっています。数百個体入網することもあった 7 月と比べると、大型クラゲの出現は落ち着いてきています。
- ・ 県東部の定置網では、8 月に入ってから一日あたり数個体程度の入網でした。しかし 8 月 7 日には、二か所の定置網で、それぞれ 100 個体、300 個体の入網がありました。
- ・ 県内各地の定置網に来遊したクラゲの傘径は 40～100cm で、徐々に大型化しています。傘径 100cm サイズのクラゲは一個体 40kg を超える重量となり、少数でも被害が大きくなるので注意してください。

## 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(8月9日現在)

- ・ 対馬の定置網では数個～最大 500 個体と、一時期よりは落ち着いていますが依然入網が続いています。
- ・ 日本海の沖合には広く分布していると思われるので、沖合操業漁船は十分注意してください。また九州～能登までの沿岸は、急増する可能性があるため十分注意してください。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 8 月 22 日



# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 6 号)

## 概要

- ・ 盆明けから県内各地の定置網で大型クラゲの入網数が急増し、1 日あたり 1000 個体に達する経営体も報告されています。
- ・ 島根丸による分布調査が行われました。採取された個体数は少なかったですが、クラゲの分布が特定の海域に集中しているか、海底近くに沈んでいる可能性があります。特に底びき網は警戒ください。

## 本県の出現状況 (8 月 22 日現在)

- ・ 隠岐の定置網では、多くの場所で盆明けから大型クラゲの入網が再び増加し、1 日 100～200 個体の入網が確認されています。
- ・ 県東部の定置網でも盆明けに大型クラゲの入網数が増加し、多くの定置網で 1 日数百個体の入網が確認されています。19 日には 1 日あたりの入網数が 1000 個体に達する経営体もありました。
- ・ 比較的入網が少なかった県西部の定置網でも、盆明けに入網数が増加しており、1 日あたり 20 個体程度の入網であったのが、10 トン程度にまで増えた経営体がありました。一方で、西寄りに位置する定置網では大型クラゲの入網が途絶えたとの報告もあります。
- ・ 定置網に入網するクラゲのサイズは徐々に大きくなっており、傘径 130cm に達するものも確認されるようになりました。このサイズになると 1 個体あたり 100kg 前後の重量となり、少数でも被害が大きくなります。
- ・ 8 月 22 日から県内各地の定置網で、「大型クラゲ緊急対策事業」を活用した沿岸域洋上駆除が実施されています。
- ・ 島根半島沖で操業するまき網では、1 日 1 経営体あたり 1～6 トン程度の大型クラゲの入網が確認されています。破損したクラゲが多くサイズは不明ですが、盆前よりは減少したとのこと。
- ・ 県西部の沖合底びき網は、先週より漁期に入りました。対馬付近の漁場で大型クラゲを確認しており、分布している場所を避けて操業するなどの対策を取っています。

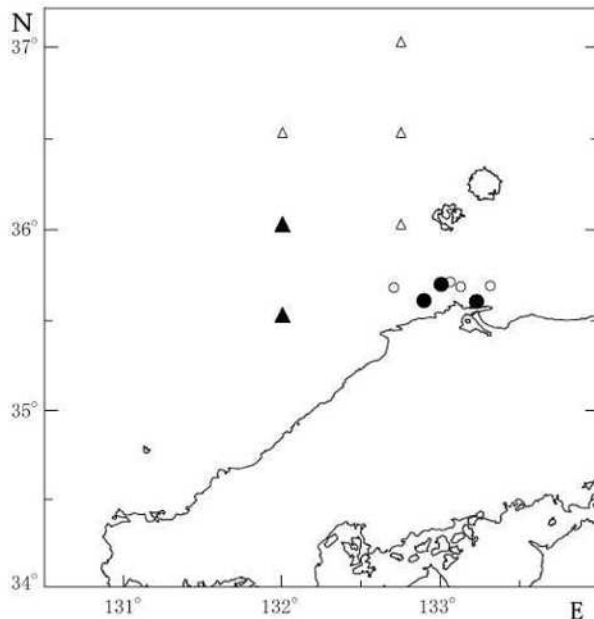
## 試験船「島根丸」による大型クラゲ分布調査結果 (8 月 19～21 日実施)

- ・ 試験船島根丸を用いて、8 月 19～21 日にかけて、大型クラゲ分布調査を行いました。LC ネットを水深 50m で 1 分間曳網し、クラゲを採取する調査です。
- ・ 調査の結果、次ページの図中に示した 6 地点中 2 地点において、各 1 個体の大型クラゲが入網しました。
- ・ 今回の調査では、現在の大型クラゲの出現状況から予想していた数よりも、かなり少ない入網数となりました。この理由として、海流や気象の影響で大型クラゲの分布が狭い海域に集中している可能性が考えられます。またこのことに関して漁業情報サービスセンター (JAFIC) からは、高水温によりクラゲの活性が落ちて、多くの

個体が海底近くに沈んでいる可能性があるとの情報提供がありました。

### **巡視船「せいふう」による大型クラゲ目視調査結果（8月19～21日実施）**

- ・ 巡視船せいふうにより、取り締まり業務に併せて大型クラゲの目視調査を実施しています。今回は、8月19～21日に、島根県東部の海域において調査が実施されました。
- ・ 下図に示した7地点中3地点において、1～2個体の大型クラゲが確認されました。傘径は50～100cmの範囲内でした。



島根丸による分布調査

▲：入網が確認された地点

△：入網が無かった地点

せいふうによる目視調査

●：目視で確認された地点

○：目視で確認されなかった地点

### **漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（8月22日現在）**

- ・ 鳥取県の小型底びき網において、1日あたり最大30個体程度の入網が確認されています。
- ・ 石川県の調査で、大型クラゲは水深200～300mの海底に分布していることが報告されました。
- ・ 山陰で操業する底びき網はご注意ください。同地域の定置網も急増することがあるのでご注意ください。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

### **大型クラゲのための漁具改良マニュアルについて**

- ・ 水産研究・教育機構が、大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良、海洋駆除の方法についてまとめたマニュアルを公開しています。下記のとおりですので、ご参考ください。

[https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/files/kurage4.pdf](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/kurage4.pdf)

【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 8 月 30 日



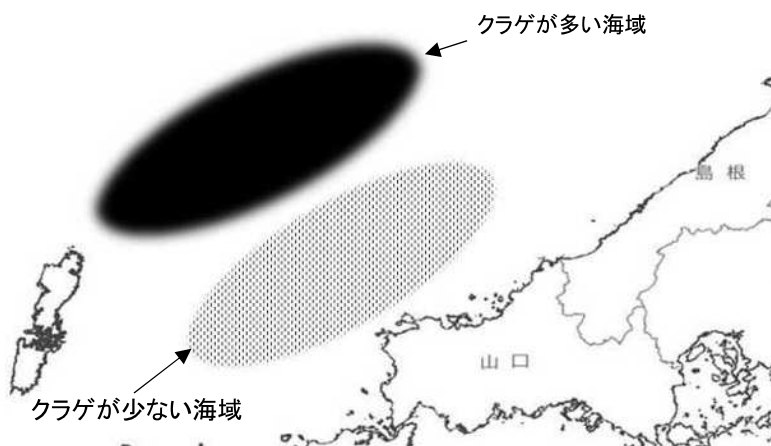
## 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 7 号)

### 概要

- 県内各地の定置網では 1 日数 10～数 100 個体が入網しており、大量入網の被害により休漁せざるを得なくなった経営体もあります。
- 沖合底びき網でも大量の入網があり、各種の漁業被害が生じています。また、まき網への入網数も増加しました
- 対馬では依然として入網しており、日本海への流入が続いていると考えられるため、引き続きの警戒が必要です。
- 気象状況によりクラゲの出現状況が大きく変わる可能性があります。台風通過後は特にご注意ください。

### 本県の出現状況 (8 月 29 日現在)

- ・ 前号 (第 6 号) でお伝えしたとおり、定置網では益明けから入網数が増加しましたが、その後も県内各地の定置網で、1 日数 10～数 100 個体が入網が確認されています。操業遅延や漁獲物の品質低下などの被害があり、大量入網により休漁せざるを得なくなった経営体もあります。
- ・ 県西部の沖合底びき網では、1 網毎に数 10～数 100 個体が入網し、操業遅延や漁獲物の品質低下等の被害が生じています。また、クラゲを出すために網を開放したり、クラゲが少ない海域へ漁場を移動せざるを得ないため、高単価の魚種の漁獲量が減少するという被害もあります。なお、沖底からの報告によるとクラゲの分布には粗密があり、対馬北東の海域では多い一方、福岡県沖ノ島周辺や山口県見島周辺では少ないとのことです (下図参照)。



\* 8/22～8/27 に操業した、複数の沖底からの報告をまとめた図

- ・ 島根半島沖で操業するまき網でも、1 日 1 経営体あたり 10 トン程度の入網が確認されており、前号での報告 (8 月 22 日現在、1 日 1 経営体あたり 1～6 トン) よりも増加しています。

## **漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（8月29日現在）**

- ・ 太平洋側（八戸）での初確認がありました。
  - ・ 対馬では依然として入網があります。100 個体を超える入網が散発的にみられており、後続群への注意が引き続き必要です。
  - ・ 山口県から北海道まで、日本海の広範囲で発見情報があります。
    - ※ 山口県の小型底びき網では、萩市見島～相島の海域において、8月1日～15日のうち7日間の操業で、合計21個体の入網がありました。
  - ・ 山陰～北部日本海までの全域で引き続き警戒してください。特に台風通過後は注意してください。
- ※詳細は漁業情報サービスセンターHP（<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>）を参照

## **大型クラゲのための漁具改良マニュアルについて**

- ・ 水産研究・教育機構が、大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良、海洋駆除の方法についてまとめたマニュアルを公開しています。下記の場所にありますので、ご参考ください。

[https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/files/kurage4.pdf](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/kurage4.pdf)

### **【発信者】**

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 9 月 6 日



# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 8 号)

## 概要

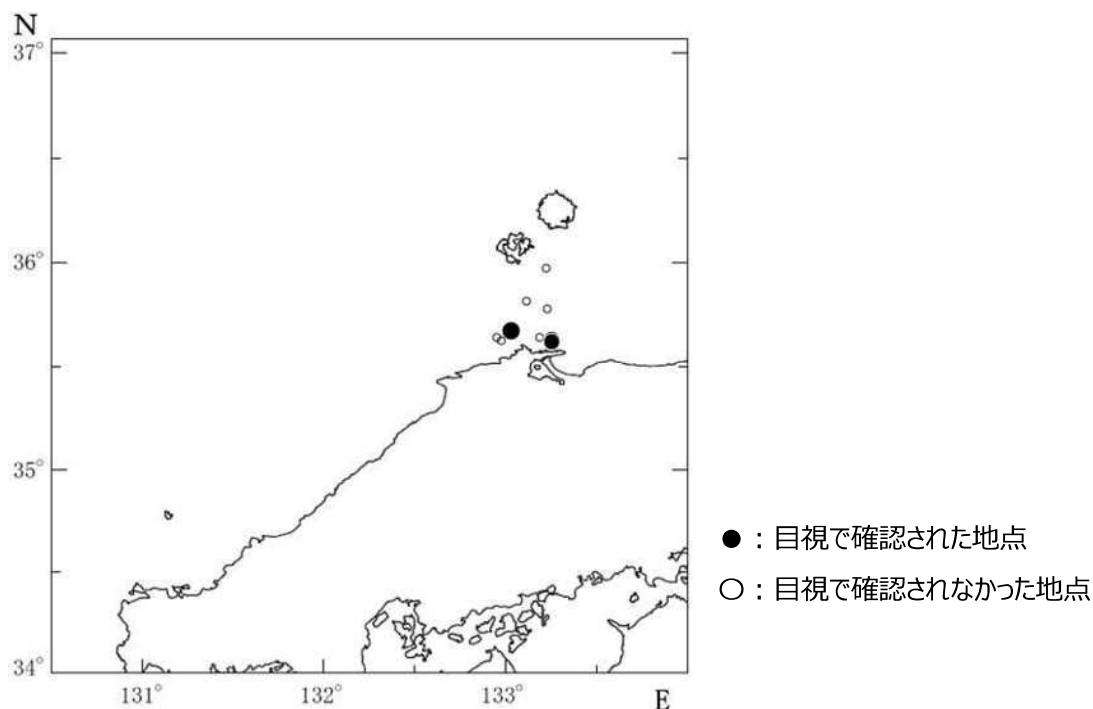
- 小型底びき網では東部～西部の広い範囲で大型クラゲの入網があり、各種漁業被害が生じています。また、沖合底びき網でも大量の入網が続いています。
- まき網や県東部・西部の定置網では、やや入網が落ち着いています。
- 長崎県の定置網の状況から、クラゲの日本海への流入が減少してきたと考えられます。しかし日本海沖合にはまだ大量に滞留している可能性が高いため、引き続き警戒が必要です。

## 本県の出現状況 (9 月 5 日現在)

- 9 月に入り小型底びき網の操業が始まりましたが、松江市沖から益田市沖まで、広い範囲でクラゲの分布が確認されています。県西部では 1 網毎に 10～30 個体程度、東部でも数量は不明ですが入網が続いており、漁獲物の白色化や鮮度低下、漁獲量減、操業遅延等の被害があります。また、西部の経営体からは、クラゲの分布は灘側で少なく沖側で多いという報告もされています。
- 沖合底びき網では、県西部で 1 網毎に数 10～数 100 個体の入網と、漁獲物の品質低下や漁獲量減、操業遅延などの被害が続いています。また今回、隠岐や県東部の経営体からも入網と被害（網の破損や漁獲量減）の報告がありました。隠岐からの報告によると、隠岐南方の海域にクラゲが多く分布するポイントがあり、1 網毎に 100 個体程度の入網があったとのことでした。
- 県東部・西部の定置網は 9 月に入ってからの入網数が 5～50 個体程度となり、8 月後半と比べるとやや落ち着いています。一方、隠岐地区は場所によって 100～200 個体程度の入網が続いています。
- まき網も全県で入網が続いていますが、量は 1 日 1 経営体あたり 300kg～1 トン程度で、10 トン程度の入網があった 8 月後半と比べると減少しています。

## 巡視船「せいふう」による大型クラゲ目視調査結果 (8 月 28 日～9 月 5 日実施)

- 巡視船せいふうにより、取り締まり業務に併せて大型クラゲの目視調査を実施しています。今回は、8 月 28 日～9 月 5 日に調査が実施されました。
- 次ページの図に示した 9 地点中 3 地点において、各 2 個体が確認されました。100cm 以上の傘径の個体も確認されています。



### **漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（9月5日現在）**

- 長崎県の定置網の入網は減少傾向が見られます。後続群が少ないと考えられます。
- 一方、対馬から山陰で操業の底曳で散発的にまとまった入網があることから、日本海沖合には依然まとまった群が分布している可能性があります。海況や気象の影響で沿岸で急増する可能性があるので警戒してください。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP（<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>）を参照

### **大型クラゲのための漁具改良マニュアルについて**

- 水産研究・教育機構が、大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良、海洋駆除の方法についてまとめたマニュアルを公開しています。下記のとおりありますので、ご参考ください。

[https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/files/kurage4.pdf](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/kurage4.pdf)

**【発信者】**

島根県水産技術センター  
 海洋資源科 担当：石原  
 TEL: 0855-23-4806  
 FAX: 0855-23-2079  
 Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和6年9月17日



# 大型クラゲ情報(令和6年度第9号)

## 概要

- 県東部のまき網は大型クラゲの入網が大幅に減少し、県東部・西部の定置網でも減少傾向にあります。一方、小型底びき網では漁業被害が続いており、隠岐地区の定置網でも場所により100個体程度の入網が確認されています。
- 概して沖寄り、中層下層に分布していると考えられるので、特に底びき網は警戒が必要です。また、気象条件等により沿岸に流入する可能性もあるので、沿岸漁業も警戒を続けてください。

## 本県の出現状況(9月6日～12日)

- 県西部の小型底びき網では1網あたり10個～20個の入網が続いています。数が減ってきたとの報告もありますが、依然として操業遅延や漁獲量減などの被害が生じています。
- 県東部・西部の定置網は入網数が1～15個体程度となり、徐々に減少しています。隠岐地区も減少傾向にありますが、場所によっては100個体程度が入網することもあるようです。
- 県東部のまき網では1網あたり1・2個体程度の入網で、1日1経営体あたり300kg～1トン程度あった9月初旬と比べると大幅に減少しています。
- 9月10・11日に水産技術センターの試験船「島根丸」によって、隠岐北方の水深200m程度の海域で小型桁網(桁幅1.6m、高さ0.5m、曳網距離約1km)による漁礁効果調査が行われましたが、この際に1回あたり1・2個体程度の入網がありました。なお、多くは死んでおり破片状となっていました。

## 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(9月12日現在)

- 島根県～宮城県までの全域で出現の情報があります。1000個に達するような大量出現にはなっていませんが、底びき網では一部まとまった入網が見られており、分布も中部～北部日本海が目立っています。
- 全国底曳網漁業連合会からの報告によると、山口沖から対馬海峡にかけて、底びき網で1網あたり10～40個体が入網があります(9月4日～6日)。
- 鳥取の小型底びき網で1網あたり40個体程度が入網が報告されています(9月7日～8日)。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

※水産研究・教育機構による「大型クラゲのための漁具改良マニュアル」は、以下を参照ください

[https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/files/kurage4.pdf](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/kurage4.pdf)

### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原

TEL: 0855-23-4806

FAX: 0855-23-2079

Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 9 月 24 日



## 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 10 号)

### 概要

- 全体的に減少傾向にあるようですが、小型底びき網・沖合底びき網では大型クラゲの入網が続き、漁業被害が報告されています。沖寄りの漁場にはまだ滞留していると考えられるため、引き続き、底びき網を中心に警戒が必要です。

### 本県の出現状況 (9 月 13 日～19 日)

- 県西部の小型底びき網では 1 網あたり数 10 個体以上の入網があり、操業遅延や鮮度低下、魚体の白化といった漁業被害も報告されています。なお、場所によって粗密があるものの、全体的には減少傾向にあるとのことです。
- 山口沖以西で操業する沖合底びき網でも入網が続いており（数量不明）、操業遅延、鮮度低下、魚体の白化といった漁業被害が生じています。なお、山口県見島南方の海域は数が少ないとのことです。また、場所にもよるが多少数が減ってきた、との報告もあります。
- 隠岐の島町南方の海域で操業する沖合底びき網は、1 網あたり 5～10 個体程度の入網があります。数が減ってきたとのことです。
- 定置網は入網数が 1 日 1 経営体あたり 1～20 個体程度となり、全県的に減少傾向が続いています。
- 隠岐海峡で操業しているまき網は、1 網あたり 1～2 個体程度の入網で、9 月初旬までと比べると大幅に減少が続いています。
- 巡視船せいふうによる大型クラゲの目視調査（9 月 9 日～19 日）では、9 月 9 日と 12 日に、七類港内でそれぞれ 1 個体ずつ確認がありました。

### 漁業情報サービスセンター (JAFIC) からの情報提供 (9 月 20 日現在)

- 対馬の定置は散発的に入網がみられますが、サイズが大型化しています。
- 鳥取の小型底びき網で 1 網あたり 20 個体程度の入網が報告されています（9 月 16 日、淀江沖）。
- 全国底曳網漁業連合会からは、対馬周辺で 1 網あたり 1～30 個体程度の入網が報告されています（9 月 3 日～11 日）。
- 山陰旋網漁業協同組合からは、島根半島沖で 1 網あたり 200～300 個体程度の入網が報告されています（9 月 9 日～14 日）。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和 6 年 9 月 30 日



## 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 11 号)

### 概要

- 大型クラゲの出現は長崎県ではほぼ終息し、本県でも減少傾向にあります。
- 数は減りましたが底びき網では入網が続いており、漁業被害も報告されています。引き続き警戒してください。

### 本県の出現状況 (9 月 18 日～27 日)

- 県西部の小型底びき網では 1 網あたり 10～20 個体の入網がありました。数は徐々に減っているようですが、依然として操業遅延や鮮度低下の漁業被害があります。分布としては、沖寄りが多く灘寄りでは少ないとのことです。
- 隠岐の島町南方の海域で操業する沖合底びき網は、1 網あたり 10～20 個体の入網がありました。9 月上旬以降、数に大きな変化はありません。
- 定置網は全県下で 1 日 1 経営体あたり 0～10 個体の入網でした。欠片程度の入網という地区もある一方、1m以上の大型個体が入網しているという報告もありました。
- 島根半島沖で操業しているまき網は、入網が無かったとのことです。
- 水産技術センターの試験船島根丸は、調査航海中に三隅沖で 1 個体、目視で確認しました (9 月 25 日)。

### 漁業情報サービスセンター (JAFIC) からの情報提供 (9 月 27 日現在)

- 長崎県ではほぼ終息し、後続もほとんど無い模様です。一方で分布は福島県まで拡大しました。サイズが大型化している点、沿岸の定置よりも沖寄りの底びき等に入網が多い点が、現在の全国的な傾向です。
- 全国底曳網漁業連合会からは、対馬北東の海域で 1 網あたり 5～10 個体の入網が報告されています (9 月 18 日～19 日)。
- 山陰旋網漁業協同組合からは、島根半島沖で 1 日 1 経営体あたり 1.5～3.5 トンの入網が報告されています (9 月 16 日～21 日)。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和6年10月15日



## 大型クラゲ情報(令和6年度第12号)

### 概要

- まき網や定置網では大型クラゲの入網が少なくなってきました。
- 底びき網の入網数も減り続けています。ただ、沖寄りの海域には依然として分布しているため、操業には注意が必要です。

### 本県の出現状況(9月27日～10月10日)

- 県西部の小型底びき網への入網数は減少しており、1網あたり0～10個体程度になりました。これまでと同様に、沖寄りが多く、灘寄りでは少ない分布とのことでした。
- 隠岐南方で操業する沖合底びき網は1網あたり3個体程度の入網で、減少傾向が続いています。
- 山口県見島沖で操業する沖合底びき網からは、欠片状かつ少量の入網が報告されています。一方、より沖寄りで操業する船では時に数10個体が入網があり、魚の鮮度低下による漁業被害も報告されています。入網数は減少傾向にありますが、場所によって分布に違いがあると考えられます。
- 定置網は隠岐地域で1日1経営体あたり0～3個体程度の入網でした。東部・西部地域の経営体では入網がありません。
- 隠岐周辺で操業しているまき網は、入網がありませんでした。

### 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(10月11日現在)

- 分布の中心は太平洋側に移りつつあります。日本海は全域で疎らながら沖寄りには分布があるので、引き続き注意してください。大型個体も多く少量でも操業の障害になります。
- 全国底曳網漁業連合会からは、対馬北東の海域で1網あたり1個体が入網(9月18日～24日)、鳥取県沖で1網あたり3～15個体が入網(9月29日)が報告されています。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)

令和6年10月28日



## 大型クラゲ情報(令和6年度第13号)

### 概要

- 底びき網で最大数十個体の入網がありますが、数は減少しています。しかし沖寄りの海域では当面は入網が続くと考えられますので、注意を続けてください。

### 本県の出現状況(10月11日～10月24日)

- 沖合底びき網は、沖寄りの海域で操業する船で1網あたり1～数10個体の入網がありますが、入網数は減少傾向にあります。沿岸寄りの海域で操業する船では、1網あたり0～1個体、または欠片状のものが数個程度の入網です。
- 定置網は、東部・西部地域で入網が無く、隠岐地域でも欠片程度の入網です。

### 漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(10月24日現在)

- 分布は千葉県に達しました。千葉県での確認は2009年の大量出現以来です。
- 10月15～16日に鳥取県によりトロール調査が行われ、島根県出雲～大田沖の水深220～330mの海域で、2～8個体の入網がありました。
- 各地の入網状況は概ね散発的かつ少量ですが、サイズが大きいことなど、操業の支障になる可能性があります。また、引き続き底びき網等沖寄りで分布が多い模様です。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

#### 【発信者】

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)